

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年2月24日

事業所名 COCO HOUSE 志智町

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		広い遊戯室と屋外にグラウンドがあり、子どもたちがのびのびと遊べる環境を整備しています。	
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		施設内はすべてバリアフリーとなっています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		室内を大きく3つのスペースに区切り、年齢や活動内容に応じた空間を提供しています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日ミーティングを行ない、個々の特性に応じた対応方法の検討、事業所の課題等を共有しています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公表しています。(会社概要のCSR内)	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			コロナ禍で外部研修が中止やリモートになる中、COCO HOUSE羽咋と合同で意見交換や施設内研修を行なっています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		当施設に検査に必要な資格を持つ職員がいません。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		すべての職員でミーティングを行い、活動プログラムを決定しています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節感のある活動を取り入れています。	
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○				

適切な支援の提供	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		翌日のミーティングにて共有する機会を設けていますが、必要に応じて、随時行なっています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている			○	過去に求められたケースはありませんが、今後そのようなご要望がある場合は、対応していきたいと思えます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			昨年度、施設内研修で講師としてお招きし、対応方法についての助言を頂きました。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している			○	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時や連絡帳を活用して、ご家族との情報共有に努めています。
保護者	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている			○	今後必要に応じて、支援を開始していきたいと思えます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に説明をしています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			随時相談に応じています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	

への説明責任等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ブログでの活動内容の報告に加え、年間4回の事業所通信をご家族に配布しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		コロナ禍の為、幅広い見学等をお断りさせて頂いています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		医師の指示書ではなく、ご家族からの連絡により対応しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		そのような事例が発生した際には、書式にまとめミーティングや研修にて振り返り、再発防止に努めています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		施設内研修にて職員による虐待防止の研修機会を設けました。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○		前例がなく、身体拘束を行った事はありません。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年2月24日

事業所名 COCO HOUSE 志賀町

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			広い遊戯室と屋外にグラウンドがあり、子どもたちがのびのびと遊べる環境を整備しています。	
	2 職員の配置数は適切である	○				
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			施設内はすべてバリアフリーとなっています。	
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○				
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページにて公表しています。(会社概要のCSR内)	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○				月に一度、COCO HOUSE羽咋と合同で意見交換や施設内研修を行なっています。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○				毎朝のミーティングを通じて、子どもや保護者の理解に努めています。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している			○		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			すべての職員でミーティングを行い、活動プログラムを決定しています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			季節感のある活動や製作を取り入れています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			休日や長期休暇には課外活動を多く取り入れ、自然と触れ合う機会を多く持っています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○				広いスペースを活用した集団活動を適宜に取り入れています。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			毎朝のミーティングで役割分担等や配慮が特に必要な事案などを共有しています。	長休みになるとなかなか時間が取れないのは課題です。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している			○	翌日のミーティングにて共有する機会を設けていますが、必要に応じて、随時行なっています。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			支援会議の際に活用しています。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○			学校との連携を図りながら支援を行っています。		
関係 機関や 保護者 との 連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			主に学校への送迎時に必要に応じて情報交換や引き継ぎを行っています。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている			○	支援員さんからの情報を頂くようにしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			移行前に会議等を行い情報の引き継ぎをします。ケースによっては、移行後も連絡を取り合い、支援の継続にあっています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			専門の支援事業所のご意見をいただく機会を設けることがあります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			コロナ禍で児童館などに行く回数は減りましたが、利用したいと思っています。来年度は地域の公共体育館の活用を実施していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			○	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時や連絡帳を活用して、ご家族との情報共有に努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている			○	今後必要に応じて、支援を開始していきたいと思えます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に説明をしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			随時相談に応じています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			ブログでの活動内容の報告に加え、年間4回の事業所通信をご家族に配布しています。
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			○	コロナ禍の為、幅広い見学等をお断りさせて頂いています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			土砂災害時における避難方法の研修に参加しています。今後、図上訓練や避難訓練の実施を予定しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待防止を議題にした社内研修を毎年行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している			○	前例がなく、身体拘束を行った事はありません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			○	医師の指示書ではなく、ご家族からの連絡により対応しています。

43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		そのような事例が発生した際には、書式にまとめミーティングや研修にて振り返り、再発防止に努めています。	
----	---------------------------	---	--	--	--